

火災図上訓練立案の手引き

～訓練担当者の方へ～



訓練日時、場所、参加者

訓練日時、訓練場所、参加者を決めましょう。

- ・ 時間はトータル30分程度
- ・ 場所は参加者が車座でミーティングできるスペース
- ・ 参加人数は3人程度から
(例：コントローラー1人＋プレイヤー2人)
(進行役) (訓練実施者)



図上訓練の想定

図上訓練の想定を決めましょう。

- ・ 時間帯は・・・
- ・ 従業員数と配置は・・・
- ・ 施設利用者の数と配置は・・・
- ・ 出火場所は・・・



平面図を用意

手書きのものでもかまいませんので、訓練想定となるフロアの平面図を用意しましょう。大きさはA4サイズ以上が適しています。



消防用設備等の確認

消防用設備や防火戸、避難階段の位置を確認しておきましょう。

事業所のどこにどんな消防用設備等が配置されているのか、手持ちの図面上にプロットして正解図面を作っておくとよいでしょう。



ピースや筆記具の準備

時間に余裕がありましたら、「ステップ2 火災図上訓練をやってみましょう」のページにある、人物や消防用設備等を模したピースのサンプルを活用し、必要なピースを用意しましょう。時間が無い場合はメモタック等でも結構です。



ステップ2
火災図上訓練ページへ



進行要領の作成

想定が決まったら、当日の進行役として訓練の流れを組み立てましょう。4ページを参照してください。

図上訓練自体の流れは、「ステップ2 火災図上訓練をやってみましょう」のページにある、シナリオ例を参考にさせていただくとわかりやすいと思います。



ステップ2
火災図上訓練ページへ



消防訓練の案内

参加対象者の皆さんに、訓練日時や場所、訓練内容をお知らせしましょう。5ページを参照してください。



消防署への届出

防火管理者選任規模以上の事業所では、訓練実施の3日前までに、訓練を実施する区の消防署予防課へ「消防訓練実施届」を提出しましょう。

詳細は名古屋市の「消防訓練実施届」のページを参照してください。



名古屋市ウェブサイト
消防訓練実施届詳細ページ

火災図上訓練

～コントローラーの進行要領～

あいさつ

訓練説明

- 建物の図面とピースを用いて、火災が発生した際にとるべき行動を皆で一緒に考える訓練です。間違いを指摘し合うのではなく、遠慮なく様々な意見を出し合い、イメージや知識を共有しあいましょう。

図面の準備

- この建物には、どこにどんな消防設備があるか、図面上に皆でピースを置いてみましょう。（⇒それぞれの設備について、参加者の理解度が低い場合は、ステップ1の動画やリーフレットを活用して使用方法等を再確認しながら進めます。）

想定発表

- 時間帯は・・・
- 従業員数と配置は・・・
- 施設利用者の数と配置は・・・
- 出火場所は・・・

火災図上訓練開始

- それでは図上訓練をはじめます・・・
- 非常ベルが鳴りだしました。誰がどんな動きをしたらよいですか？（⇒以降、火災の進行をシミュレーションしながら質問を投げかけ、意見を引き出していきます。）

ふりかえり

- 以上で図上訓練は終わりますが、皆さんいかがでしたか？（⇒今後の課題や、対策方法をあげてもらい、ステップアップにつなげていきます。）

火災図上訓練のご案内

日時

20××年×月×日（火） 午後13時～13時30分

場所

第3会議室



火災に備えて図上訓練を行います



ミーティング形式の訓練です



消防訓練の経験は問いません



この建物のどこにどんな消防用設備が設置されているか、少し予習しておいてください



今、火災が起きたら、どんな行動をとればよいのかを、みんなで考えましょう



持ち物は筆記用具です



所要時間は30分程度です

火災図上訓練とは、事業所で火災が発生した場合、その被害を最小限に抑えるために従業員の方々がとるべき行動を、平面図を用いてミーティング形式でシミュレーションする訓練です。実際に火災が発生した際に、どんな行動をとるべきなのか、参加者の皆さんで意見を出し合い、イメージや知識を共有しあえるメリットがあります。